

記入例

研究活動に係る収支予算書

収入の部

科目	予算額(円)	摘要
自己資金	147,000	
市助成金(期待額)	560,000	
市以外補助金等	0	
合計	707,000	

$707,000 \times 0.8 \approx 560,000$ (1万円未満切り捨て)

用途及び積算根拠をなるべく詳細に記載してください

支出の部

科目	予算額(円)	積算根拠
講師謝金	80,000	協力者への謝礼 @20,000×4人=80,000円
現地調査旅費	105,000	市内@500×10人×5回=25,000円 研修参加(東京都) @40,000×2名=80,000円(宿泊料及び参加費を含む)
消耗品購入費	70,000	アンケート用紙、インク等
備品購入費 (予算額合計の4割以内の額)	164,000	〇〇ソフト1本150,000円 超音波洗浄機14,000円
印刷製本費	48,000	報告書 @1,600×30部=48,000円
通信運搬費	60,000	アンケート返信用切手 @120×500枚=60,000円
書籍購入費 (予算額合計の1割以内の額)	50,000	〇〇〇〇など10冊
筆耕翻訳料	90,000	〇〇会議の反訳(テープ起こし) @30,000×3時間=90,000円
使用料	40,000	会議室 @5,000×2日=10,000円 レンタカー @14,000×2日=28,000円
合計	707,000	

学会への出席や県外への出張等については理由書を提出してください

上限282,800円
($707,000 \times 0.4$)
備品購入理由書が必要

上限70,700円
($707,000 \times 0.1$)

上限30部で積算

レンタカーは要相談

一致

- ※ 備品購入費(汎用性の高いものを除く。)については、備品購入理由書(様式は、任意。品番、品名、購入数、購入予定金額、使用用途、当該備品を必要とする詳細な理由、グループ代表者の氏名等を記載したもの)を添付すること。
- ※ 印刷製本費のうち研究報告書の印刷部数については、30部(うち市への提出部数は、原則として5部とする。ただし、研究報告書を提供すべき連携課が複数にわたる場合は、この限りでない。)を上限として経費を算出すること。